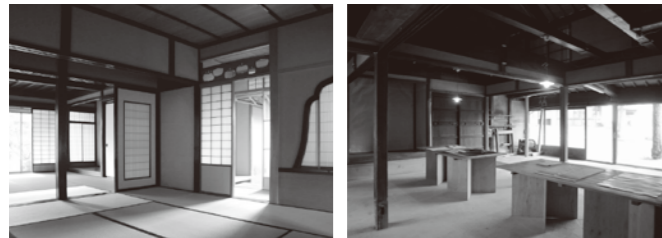


「つづくこと・なくなること・くりかえされること」について

「つづくこと・なくなること・くりかえされること」は美術、文化、伝統について再考することを目的に2008年スタートしました。4回目となる2011年は江戸時代に建てられた手銭邸と大正時代に建てられた神門の町家を中心に作品展示、イベントを開催します。出雲地方が「神在月」となる旧暦10月、全国の神々が集まるように人々が集い、身の回りにあるこれからも伝えられていくこと、失われていくもの、循環していくことについて考え、言葉を交わす場所が生まれます。

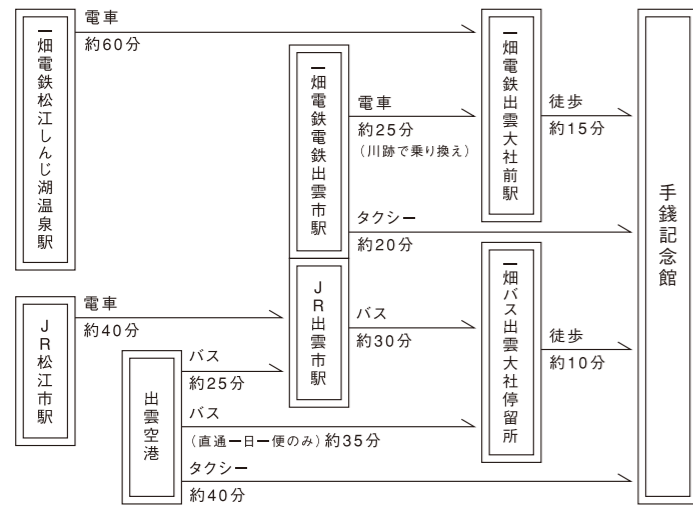
“Continue, Disappear, Regenerate” is an annual art program started in 2008. Through exhibitions, workshops, and talks, it aims to invite reconsideration of cultures and traditions in Izumo area.



手銭邸

神門の町家 | 北のハウス

手銭記念館への交通案内と地図



各地から出雲市へのアクセス、その他観光情報は以下のサイトでご確認ください。
 <しまね観光ナビ> <http://www.kankou.pref.shimane.jp/>
 <出雲市観光協会> <http://www.izumo-kankou.gr.jp/>
 <大社町観光協会> <http://www.kankou-taisha.jp/>

開催期間 = 10月29日(土) — 11月13日(日)
 [11月1日(火)、8日(火)は休館日です]
 会場 = 手銭邸 [手銭記念館 隣接]
 神門の町家 | 北のハウス [出雲市大社町 神門通り・商工会前]
 主催 = 公益財団法人手銭記念館
 助成 = 財団法人 アサヒビール芸術文化財団 NOMURA 野村財団
 素材提供 = ダウ化工株式会社
 協力 = 島根県立古代出雲歴史博物館、神迎の道の会、神門通り廻りの会、Taisya Design
 後援 = 財団法人出雲市教育文化振興財団、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、BSS 山陰放送、出雲ケーブルビジョン、山陰中央新報社、島根日日新聞社、エフエムいずも

Continue, Disappear, Regenerate 2011

Dates: 29 October – 13 November, 2010
 [Closed on 1 and 8 November, 2011]
 Venue: House of Tezen [Next to Tezen Museum]
 House of Shinmon [Shinmon-dori Taisha-cho Izumo-shi]
 Organized by Tezen Museum
 Supported by Asahi Beer Arts Foundation, Nomura Foundation
 Materials Supported by The Dow Chemical Company
 Cooperated by Shimane Museum of Ancient Izumo,
 Kamimukae no Michi no Kai, Shinmon-dori Yomigaeri no Kai, Taisya Design
 Under the auspices of Izumo City Education and Culture Promoting Foundation,
 NHK Matsue Bureau, TSK, BSS, ICV, The San-in Chuo Shimpo,
 Shimane nichichi news paper, FM Izumo



地図制作協力: buildinglandscape

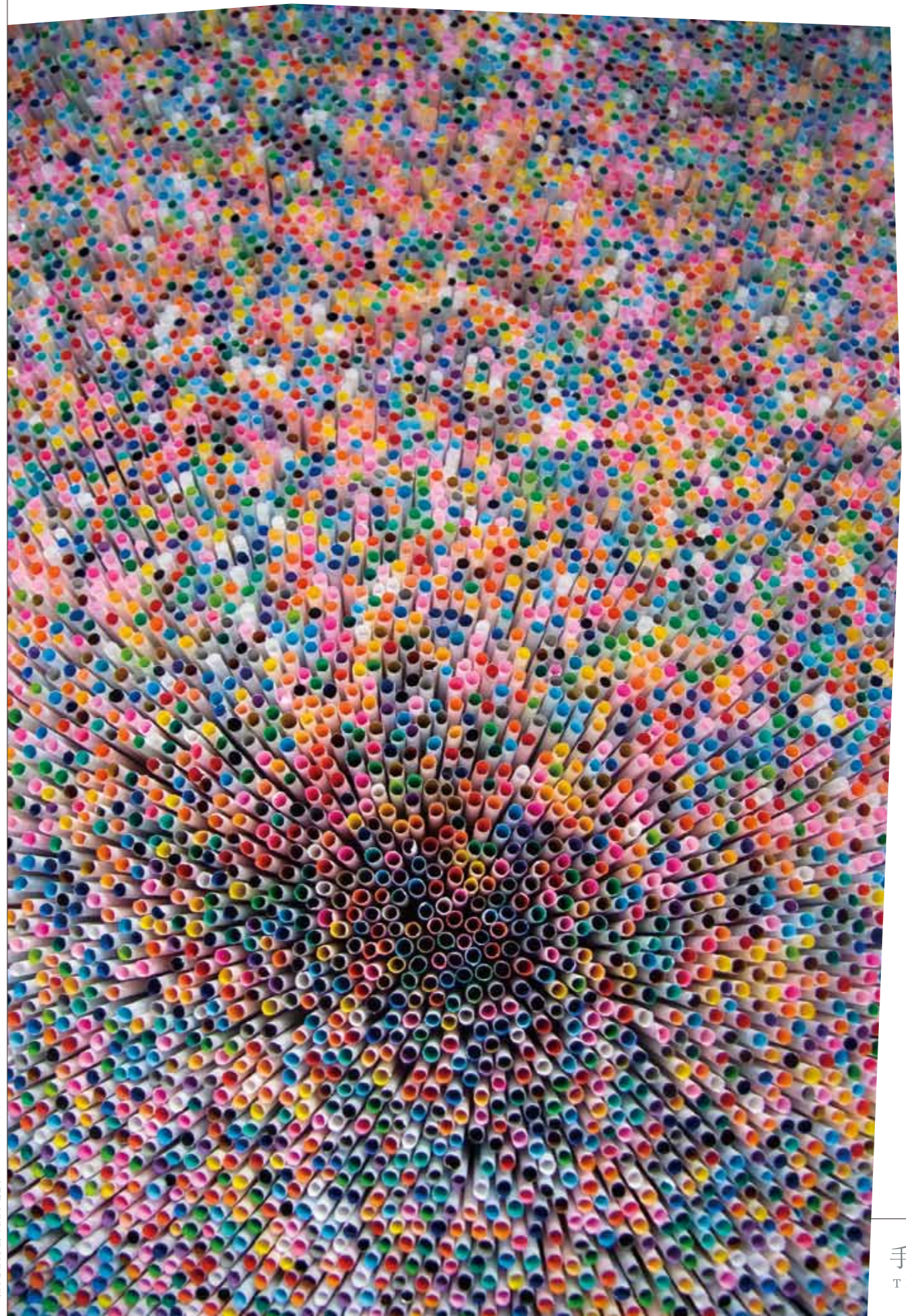


〒699-0751 島根県出雲市大社町杵築西 2450-1 TEL/FAX: 0853-53-2000
 2450-1 Kizukinishi Taisha-cho Izumo-shi Shimane 699-0751 Japan
 TEL/FAX: 81-(0) 853-53-2000 E-mail: info@tezenmuseum.com

イベントの詳細情報はウェブサイトで!
<http://www.tezenmuseum.com/cdr2011/>

表紙:「虹の人(部分)」2011 折り紙 / サイズ未定

Hello-G©Dbye —その時は忘れた頃にやってくる—



DESIGNED BY OUSIGHT GRAPHICS / 印刷: 安井博典 (株式会社 廣文社)

10月29日(土) — 11月13日(日)

柴田鑑三

Hello-G◎Dbye

—その時は忘れた頃にやってくる—

作品を作っているとよくこんなことがある。

夜な夜なピンッ!!ときて「こんな面白いものを作ってみよう。」

と思い立ち制作に取りかかる。

(そのまま布団から出られず眠ってしまい、

朝には「夜な夜なピンッ!!」

を忘れていたこともしばしばあるけれど、..)

しかし制作を進めるにつれて「なんでこんなものを作ってるんだ?」

と思い手を止め、そのままあきらめられた作品は部屋の中に転がっている。

そんな制作をいくつとなくしていると

ふと以前あきらめられた作品が目に入り

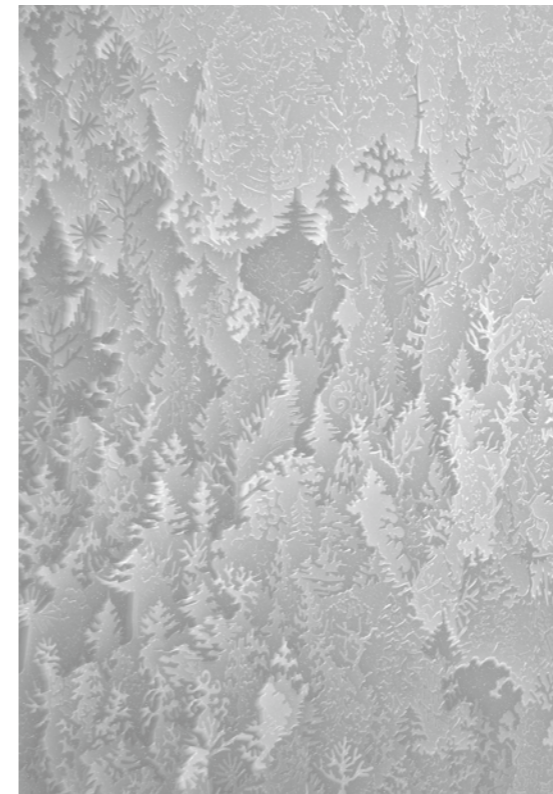
その作品をとっかかりに新しいアイデアや

美しさを感じることもある。

そしてまた新しい作品へと深化していく。

『Hello-G◎Dbye』

[作品展示]



「山寄りの谷、谷寄りの山(部分)」2008 押出法ポリスチレンフォーム
180×900×11～可変 cm 写真:北村光隆

手銭邸

新作《虹の人》(表紙掲載)を中心とした作品を展示します。

期間中 10:00～17:00

神門の町家 | 北のハウス

断熱建材・押出法ポリスチレンフォームを熱した細い針で切り込んだ《山寄りの谷、谷寄りの山》を展示します。

期間中 10:00～17:00

♪タドキライトアップ

タドキに作品をライトアップします。

日中とは違う見え方を楽しむことができます。

期間中 17:00～19:00

※外からの鑑賞のみ、入場はできません。



柴田鑑三(しばた・かんぞう)

1981年、愛知県生まれ。2007年、東京芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了。主な個展に「化身のシルエット」(埼玉県立近代美術館/埼玉/2006)、「降臨する森羅」(INAXギャラリー2/東京/2008)、「柴田鑑三展」(中京大学 C・スクエア/愛知/2009)がある。

[トーク]

《アーティスト・ギャラリートーク》

柴田鑑三さんと一緒に作品を鑑賞するツアーを開催します。

10月29日(土)

第一部=15:00～ 手銭邸の作品について

会場:手銭邸

第二部=17:00～ 神門の町家 | 北のハウスの作品について

会場:神門の町家 | 北のハウス

-アーティスト:柴田鑑三(美術作家)

-モデレーター:手銭和加子

(「つづくこと・なくなること・くりかえされること」主宰)

-参加費:無料(当日有効の入館券が必要です。)

-定員:各回20名

[ワークショップ]

ワークショップ 《心の矢をつかまえる》

柴田鑑三さんの作品に用いられている断熱建材・押出法ポリスチレンフォームを使って作品を制作するワークショップです。

電熱線を使い、材料を溶かし切って自由に線を描きます。

切り抜かれた部分をずらし、その凹凸によって、陰影が生まれ、奥行きのあるレリーフ状の作品が完成します。

11月12日(土)

午前の部=10:00～ / 午後の部=14:00～

会場:島根県立出雲歴史博物館エントランスホール

-アーティスト:柴田鑑三(美術作家)

-参加費:1,000円(材料費として)

-定員:各回10名 / 要予約 *小学生以下は保護者同伴

[申し込み] メール:info@tezenmuseum.com

電話/ファックス:0853-53-2000

までお名前をお知らせください。

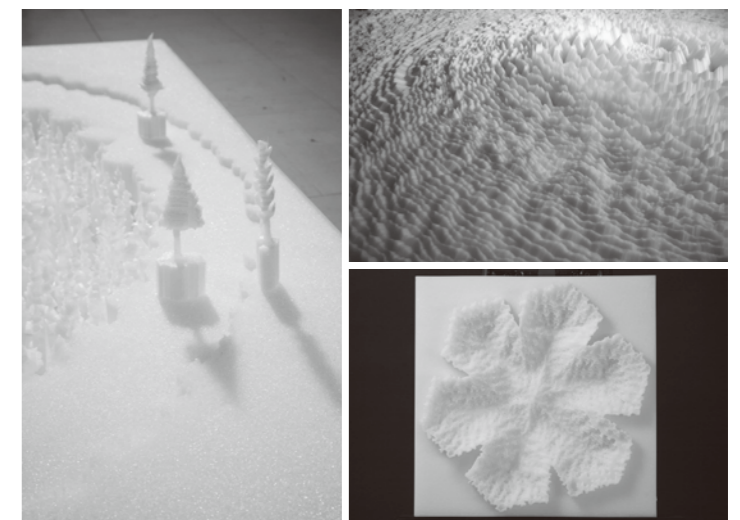


写真:左・右下) KEI OKANO